

# 1 歴史と民話の世界に浸る

若狭のかはま  
ドコイコ!  
ナニショ!  
ミニツアー



明鏡洞や城山公園、漁村ならではの狭い路地、そして民話の伝わるお寺や場所をまち歩きしましょう。海とまちの近い高浜ならではの風景もあちらこちらにいっぱいです。

### 所要時間

ゆっくり歩いて約2時間  
(よくばりコースは40分追加)



# 1 歴史と民話の世界に浸る



明鏡洞や城山公園、漁村ならではの狭い路地、そして民話の伝わるお寺や場所をまち歩きしましょう。海とまちの近い高浜ならではの風景もあちらこちらにいっぱいです。

## 1 望郷の灯火と石

ここ若狭高浜と能登半島の志賀町(石川県)との友好の証です。1632年、高浜の漁師が遭難により志賀町に流れ着いたことがきっかけとなり、若狭高浜の巧みな漁法を伝えることとなりました。

石は当時の上陸地にあった「諸願堂の浜石」をこの地に移したもので、隣は親元である若狭高浜の灯台です。いつも絶やさぬ若狭の灯火が、ふるさと若狭高浜に思いをはせるこの石を照らしています。



## 2 漁師画家 貝井氏アトリエ

漁師であり画家である貝井さん。海と漁師、魚をテーマに描いた作品であふれています。貝井さんが「漁師でなければ本当の漁師の姿は描けない」と常々言われている通り、厳しい自然を相手に生きる漁師の姿を同じ視点から、荒々しく重い色調で描いています。



## 3 高浜漁港

高浜の沖合いは、オホーツク海から南下する千島寒流と、対馬海峡から北上する対馬暖流が合流するため、多様な魚種が数多く生息する漁場となっており、漁業の歴史は、古くは石器時代にまでさかのぼります。大正から昭和のはじめにかけて、巾着網(きんちゃくあみ)を取り入れてからは、「サバ」の水揚げが全国でも1・2を争い、「アジ」「イワシ」「タイ」「ブリ」など、トク箱が山積みとなりました。



## 4 城山公園

大正10年に毎日新聞社の「日本二十五勝」に選ばれた日本海側屈指の景勝地。一方、室町末期にまでさかのぼると、甲斐武田家の流れをくむ戦国武将逸見昌経が、奇岩・明鏡洞に向かって左手の城山に高浜城を築きました。今でも、当時の石垣や石段を見ることができます。



## 5 漁村界限

この辺一帯の塩土、事代集落は昔から漁業が盛んな地域で、狭い路地が迷路のように入り組んでいます。運が良ければ軒先で漁師さんの網仕事が見られるかも知れません。路地の至るところに、「お地藏さん」や「お稲荷さん」が点在しており、かわいい前掛けや帽子で着飾られています。地域の人々が自然の恵みに感謝し、信仰の対象として大切にまつていることがうかがえます。



## 6 西福寺

かつて京都と高浜の魚商組合の間で、海産物の取引を行う商社が設立され、その記念の石碑がここ、西福寺に残されています。また、高浜が明治の初めまで「木津庄(きづのしょう)」と呼ばれていた名残の、「木津山」と書かれた看板が本堂の入口に掲げられています。木津庄の「津」は港を意味し、西福寺の前が船着場でした。ちなみに高浜の地名は、浜辺に砂がうち寄せて浜が徐々に高くなることから「高浜」と言われるようになったと言われています。



## 7 金米橋(こんべいばし)

昔から、不浄なものが通ることを嫌った橋とされており、この橋があらゆることの境目となっています。七年祭といわれるお祭りでは、「東山」と「中ノ山」の2基の神輿の境となっており、お互いが橋を越えることは許されません。この地区に伝わる民話で、近くのお寺から仏像を盗んだ者が、この橋を渡ろうと足を踏み入れた途端に、仏像が次第に重くなり、どうしても橋を渡ることができなかったという話があります。今ではコンクリート製の橋に変わっていますが、昔は「いろは48文字」にならって48枚の御影石を敷き詰め、「いろは橋」とも呼ばれていました。



## 8 専能寺

真宗本願寺派西雲山専能寺。歌集「みだれ髪」で有名な与謝野晶子の夫で、歌人・与謝野鉄幹の実父にあたる、与謝野礼巖が住職を務めたお寺です。このお寺には、「蓮如上人の植竹」という民話が残っています。



## 9 赤尾町通り(あこまちどおり)

かつて海水浴客で大変にぎわった通りで、戦後まで花街として栄えていました。近くの鳥居浜海水浴場では、七年祭のクライマックスで3基の神輿がで激しくぶつかり合った後、海につかって足を洗う「足洗い」の儀式が見られます。



## 11 園松寺

園松寺は、高浜の礎を築いた高浜城主「逸見駿河守昌経」の創建とされる臨済宗相国寺派の禅宗寺院です。周辺の33以上ある相国寺派寺を統括する役を任されていました。

特に、江戸時代後期の相国寺派管長「維明周奎」らは、故郷を偲ぶ証として数々の名品をここ園松寺に寄贈したため、数多くの名宝を祖蔵するお寺として知られています。



## 10 薬師堂

目の病気にご利益があるといわれる薬師様が納められています。薬師様は、本町最古の寺院といわれ今は廃寺となった久昌寺のご本尊。真っ黒な薬師様は大変珍しく、「黒薬師」と呼ばれています。この薬師様は25年毎に開帳される秘仏で、最近では平成16年に開帳されました。

